

2023年度通期

継続新規

科目No.	関連講座GR577e	科目名	規範科学事例研究5(論議の輪)				副題	文理融合の視点をもつ規範科学(レギュラトリ・サイエンス)を健康・生活・経済・社会・地球へのリスクを例に論じる				
連携機関名	化学生物総合管理学会	水準	中級	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	通年隔月第1水曜日 21:00-23:00	拠点 (開講機関)	リモート・横浜戸塚 (知の市場)	
科目概要(300字)	好奇心や欲望に突き動かされ20世紀初頭から知の爆発が始まった。知の暴走を制御し知の創造とともに知の伝搬を促して社会変革へ繋げる社会のための科学(Science for Society)や政策のための科学(Science for Policy)のひとつとして、科学的方法論と知的説得によりリスクの顕在化を未然に防止する規範科学(Regulatory Science)が提唱されている。規範科学の文理融合的な特徴を踏まえながら、コロナ禍やウクライナ侵略などで顕在化したヒト・生活・経済・社会・国家・地球の安全保障に係る日本や世界の課題を視野に入れながら、下に示す内容に捉われず参加者が提起する多様な論点に論議の輪を広げ、その意味と意義を論ずる。											

科目構成	No.	講義	講義概要(150字)	講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
はじめに (これまでの復習)	1	社会規範と科学的方法論	科目の目指すところと講義の進め方について概説するとともに、この科目の理解の基本となる規範や科学的方法論そして規範科学とは何かを紹介し、社会が直面するリスク・危機を円滑に乗り切るうえで規範が持つ意味と意義を検証しつつ、その制定や運用に必要な社会の合意形成において科学的方法論が果しうる役割について問題提起する。	2023/5/3	Zoomを 活用して リモート 開催。	増田 優	増田 優	お茶の水女子大学 名誉教授 早稲田大学 規範科学総合研究所 招聘研究員 社会技術革新学会 化学生物総合管理学会 会員
社会的危機に備える 社会的規範	2	自然災害の事例の検証	伊豆大島の噴火による全島避難という危機への対応を検証しつつ、その後の東日本大震災や福島原子力発電所事故などへの対応も踏まえ、ヒト・生活・経済・社会・国家・地球のそれぞれの安全保障の視点から、早急に取り組むべき規範の整備・充実などの課題につき論じる。					
	3	疫病の事例の検証	コロナ禍は未だ収束に至らず、各国の違いが顕在化している。中国と欧米の違いを検証しその原因と是非を論じるとともに、その中間にあるやに見える日本の現状を再検証し改めて課題を明らかにするとともに、ヒト・生活・経済・社会・国家・地球のそれぞれの安全保障の視点から、早急に取り組むべき構造改革や規範の整備・充実について論じる。	2023/7/5				
	4	社会インフラの検証	公が担う上下水道は社会インフラとして認識されているが、民が担う電気・ガスや石油さらに今や生活に不可欠なスーパーやコンビニはどうか。一方、大半は民営とはいえ社会インフラと見られている医療機関はその責務をを十分に果しているであろうか。改めて、社会インフラとは何か、その責務とは何かなどを検証しつつ、社会規範との係わりについて論じる。					
国際的危機における 規範の意味と意義	5	日米貿易紛争と国際規範	ダンピング提訴を契機に発生した繊維、鉄鋼、テレビ、半導体、自動車などの日米貿易紛争は、日米協議の結果日本の自主規制で決着した。一方、同じダンピング提訴から始まりながら全く異なる経過をたどり最終的には世界貿易機構(WTO)において日本が全面勝訴するに至った日米フィルム紛争の経緯を検証しつつその成否の決定要因を論じる。	2023/9/6				
	6	日米貿易紛争と米国規範	米国大統領の日本国総理大臣に対する親書から発した日米タイヤ紛争が、日米協議による日本の自主規制という結末とも世界貿易機構(WTO)における勝訴という結末とも異なる形で収束した経緯を検証しつつその成否を決めた要因を論じる。	2023/11/1				
	7	本当の安全保障の本質	米国通商代表部が担当する他の貿易紛争と異なり、国防総省が米国の安全保障を害するとして提起した事案が、日本国政府の関与を待たずに解消した経緯を検証しその決定要因を論じることに、急に関心が高まっている経済安全保障やその一環である貿易管理などについて、攻めと守りの安全保障の視点も踏まえて、広角的・多角的に論じる。	2024/1/3				
まとめ	8	総合討論 安全保障と社会規範	化学物質、放射線、病原生物などのもたらすリスクや地震、津波、台風などがもたらすリスクとともに飢饉や失業などがもたらすリスクや貿易紛争といった国家間の緊張がもたらすリスクなど幅広い視点から安全保障をとらえながら、その維持向上のために規範が果たす役割と技術革新、制度改革、人材改新、社会変革との係わりについて討論する。	2024/3/6				